



News

eco

シブヤパイピング工業(株)

4月1日、新たな経営計画書が発表され、新入社員を4名迎え、シブヤパイピング工業の67期がスタートしました。

新入社員にとっては現場は勿論のことですが事務所内でも、ISOの実践においてもどうしたら良いのか解らないことが多くあることと思います。

私たちは新入社員に対して、山本五十六の「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ」の明言を実践し、一日も早く一人前の「シブヤ人」になってもらうように努めたいものです。

3月11日発生した東日本大震災発生から1ヵ月余りがたちました。

この震災が世界に発信した「日本人」像は「秩序」と「忍耐」でした。救援物資に群がることも無く整然と順番を待ち、一つのおにぎりを分け合って食べる姿でした。「闘争心に欠ける、生き残る意欲に欠ける」民族、「分かち合い、共に生きようとする」民族... 世界は日本の、日本人の真の姿をどうとらえたのでしょうか。

「がんばろう、日本」省エネルギー、省資源に努めエコ活動を通して身近から災害復旧に参加しましょう。

シブヤ構内の駐車場のわずかなコンクリートの隙間に根を張り、冬の寒さに耐え、厳しい環境に負けず「スレ」が小さな花をつけました。



品質方針・環境方針・品質目標・主要プロセスが67期経営計画書にて発表されました。今期もISOを順守し行動しましょう。

《年間改善活動計画書》

年間改善活動計画書の作成と運用

- ・環境側面（業務課題）を抽出し
- ・「年間改善活動計画書」前期（4月～9月）に改善の目的・目標を設定し
- ・目標を達成するための活動内容を決め運用しましょう

【実施手順】

- ①部門の業務内容（環境側面）を洗い出し、改善が必要とされる事由（業務課題）を抽出する。
- ②抽出された事由がどのように環境に影響を及ぼすか評価する。
- ③環境影響が関連する法的要求事項を評価する。
- ④業務内容（環境側面）は著しい環境側面の判定を行い識別すると共に法的要求事項をチェックし順守評価を行う。
- ⑤業務課題の内容は著しい環境側面と特定し環境マネジメントシステムに関連する改善活動とし、「年間改善活動計画書」を用い展開する